

【外ヶ浜町】
校務 DX 計画

1. FAX・押印の廃止について

教育委員会から各学校への連絡は主にメールやグループウェアで行っているが、まだ一部ではペーパーベースで送っているものもある。FAX は送信に係る費用だけでなく、用紙やインク、トナー代であったり、メンテナンス等に係るコストが掛かるうえ、届いた FAX の情報を整理するのに時間も必要で校務の効率化に反する部分が多い。こうしたことから教職員の働き方改革の観点から、必要な場合を除き原則 FAX の使用を見直す。また押印についても同様の観点から見直しを進める。

2. 次世代校務支援システムのクラウド化について

現在当町では校務支援システムを導入し、名簿管理や成績管理などの処理を行っているが、オンプレミス方式である。今後、教育の情報化を推進し、セキュリティ強化や教育の質を向上させるとともに、教職員の働き方改革や災害時の業務継続性を維持させるためにクラウド化を進める。

3. クラウドサービスの活用について

当町ではすべての教職員にメールアドレスが付与されており、情報共有やクラウドツールが活用できる環境にあるが、より一層積極的に活用するために各ソフトウェアの使用法やセキュリティに関する研修を教職員向けに行う。